



「もったいないをありがとうへ」
活動にご協力をお願いします

フードバンク

フードバンク事業とは

「食料銀行」を意味する社会福祉活動です。ご家庭で眠っている食品を持ち寄り、こども食堂や食事を必要としている子ども達にお届けする活動です。特定非営利活動法人くろいしでは、地域の方が活用しやすいように、銀行や人が集まるコンビニにフードボックスを設置し、それらを回収して地域の子ども達への支援に活用していきます。

ご寄付いただく食品について

ご寄付いただく食品には条件があります

- 未開封のもの
- 生鮮食品以外の常温保存できるもの
- 包装や外装が破損していないもの
- 包装や外装を他のものに移し替えていないもの
- 賞味期限が明記されており、それが一か月先のもの

フードバンクでご寄付いただく食品の量は問いません
ひとつの缶詰でも、空腹を満たす以上の希望がつまっています

特定非営利活動法人 くろいし (黒石こども食堂実行委員会)

〒036-0357 黒石市追子野木三丁目193-1

☎070-5324-9876 ✉ npokuroishi@gmail.com



特定非営利活動法人くろいしでは、子ども達の居場所作りを目的としたこども食堂事業、フードロス削減を目指したフードバンク事業、ひとり親家庭の子育て支援を行っています。

nonprofit organization 特定非営利活動法人くろいし (黒石こども食堂実行委員会活動報告)

～「もったいない」を「ありがとう」へ～

黒石 一人親世帯を対象に「くろいし」こども食堂実行委員会(村照幸代表)は21日夜、黒石市内の幼稚園、保育園(こども園)に通っている子どもを持つ一人親世帯を対象に、無料配布するコメなどの食料の袋詰めを行いました。食料は各園を通じて24日に配布。

実行委員は10月にメンバー10人で設立。11月には十和田市で「あつた」を「ありがとう」へ～

明るい年末年始を

田こども食堂実行委員会との共催で、一人親世帯に対するリンゴや飲料、お菓子等の配布などを行っている。この日はメンバー8人が、コメ(30kg)やリンゴ、うどん、シメツを袋詰めに入れていった。

村代表は「食料の配布を通して、子ども親世帯に少しでも明るい気持ちを持って年末年始を過ごしてほしい」と述べ、来年から市内10地区を巡って本格的に「あつた」を「ありがとう」へ～(松田恭雄)

○令和3年12月下旬
黒石市内の全保育園を対象にひとり親世帯へのお米等の無償配布を実施



○令和4年2月上旬
黒石ライオンズクラブより防災食の寄贈を受けました

子育て世帯の支援に 黒石こども食堂に食品贈る

黒石ライオンズクラブ 千藤政幸会長が3日、0ハツクを贈った。村代表は「食料が集まるほど生活が困窮している子育て世帯を支援できる、大変ありがたい」と感謝した。

表に自衛隊非常食160パックを贈った。村代表は「食料が集まるほど生活が困窮している子育て世帯を支援できる、大変ありがたい」と感謝した。

非常食は防衛省が備蓄し、賞味期限が近くたつたものを黒石のライオンズクラブに提供し、黒石こども食堂に提供して各家庭に配布している。同クラブは実行委に白米80食分、ドライカレー・五目チャーハン各40食分を贈った。

産業会館内の同クラブ事務所で行われた贈呈式には、村代表のほか、委員の猪俣大善さんと盛孝さんが出席した。工業会長から目録を受け取った村代表は「新型コロナウイルスの影響で思うように活動できないが、子どもたちの健全な成長のために大事に使わせていただくとお礼を述べた。

工業会長も役立ててくれると、こちらもうれしい。食料を通して、生活に困っている子育て世帯への支援を続けたい」と話した。

○令和4年2月下旬
黒石北地区においてこども食堂を実施
コロナ感染対策により食事の提供のみ実施



○令和4年1月下旬
黒石追子野木地区においてこども食堂を実施
コロナ感染対策により食事の提供のみ実施

黒石 地域の子ども 元気に育て

有志豚汁など20食配布

黒石市の「くろいし」こども食堂実行委員会(村照幸代表)がこのほど、同市追子野木地区の子どもたちを対象に、カレーライスや豚汁などの無料配布を行った。

た。今後、月に1回のペースで市内全地区を回り、こども食堂や食料提供などを予定。同委員会は、同市で生まれ育った子どもたちの健康な成長を支援し、居場所づくりにつながる活動をしていく。

追子野木地区では当初、こども食堂を行う予定だったが、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、食料の配布に変更。実行委員のメンバーが、市内の個人・団体から提供を受けた食料を使ってカレーライスや豚汁などのセット20食分を手作りし、追子野木会館駐車場まで子どもたちに手配した。村代表は「黒石市の子どもたちの未来のために活動していきたい。食料提供などで協力してもらえばありがたい」と話した。

食料提供の問い合わせ先は村代表 電話070-1532498・メール info@kuroishi.com / kuroishi@nifty.com (本田海輝)

健やかな成長手助け 黒石こども食堂実行委 食料配布ボランティア

黒石こども食堂実行委員会(村照幸代表)が2月26日、松の湯交流館にて一人親世帯などを対象とした食料配布を行い、申し込みのあった家族にコメやレトルト食品、飲み物、菓子などの詰め合わせなどを手渡し喜ばれた。

実行委員会は「黒石市内に生まれ育つ子どもたちの健やかな成長を手助けする」ことを目的に昨年10月に発足。1月26日にNPO法人となった。これまで食料配布のほか、公民館で尿食を配ることも食料などの活動を行っている。

実行委員会によると、この日はコメ30kgやレトルトカレー、うどんの詰め合わせ15セットを用意、みらいネット弘前などで申し込みを受けたものという。

松の湯交流館には、メールなどで申し込んだ家族が訪れ、メンバーから食料の詰め合わせを受け取った。

27日には中郷公民館で子どもたちを囲み、カレーライスや豚汁などの無料配布

○令和4年2月下旬
黒石市松の湯交流館にて市内のひとり親世帯への食料の無償配布を実施



○令和4年3月下旬
黒石六郷地区においてこども食堂を実施
室内カーリングで運動した後、ビンゴゲーム、防災食体験を実施し、昼食にカレーと豚汁を提供

